

第48週の発生動向 (2007/11/26~2007/12/2)

1. 咽頭結膜熱については、むつ保健所管内において新たに、東地方+青森市保健所管内においては第45週から**警報**が続いています。
2. 感染性胃腸炎については、青森市及びむつ保健所管内において、多い報告数が継続していることから、引き続き、注意が必要です。
3. 水痘については、むつ保健所管内において、新たに**注意報**が出されています。
4. 急性出血性結膜炎については、青森市保健所管内において、第47週から**警報**が続いています。
5. インフルエンザについては、弘前保健所管内において、新たに**注意報**が出されました。迅速診断キットによる型別は次のとおりです。弘前保健所管内 A 型:234 人, B 型:1 人、八戸保健所管内 A 型:3 人, B 型:1 人, 不明:1 人、上十三保健所管内 A 型:11 人、むつ保健所管内 A 型:2 人。

第48週五類感染症定点把握 注:五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

保健所名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)		
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点	
(100) インフルエンザ	3	0.21	235	15.67	5	0.36	7	1.00	11	1.22	2	0.33	263	4.05	157				3	0.25
(72) RSウイルス感染症	1	0.11	5	0.56			10	2.00					16	0.38	9				1	0.13
(73) 咽頭結膜熱	44	4.89	4	0.44			2	0.40	1	0.17	11	2.75	62	1.48	15	1	1.00	43	5.38	
(74) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	0.89	12	1.33	1	0.11	5	1.00	20	3.33	5	1.25	51	1.21	18	1	1.00	7	0.88	
(75) 感染性胃腸炎	73	8.11	13	1.44	51	5.67	5	1.00	73	12.17	75	18.75	290	6.90	108	7	7.00	66	8.25	
(76) 水痘	7	0.78	2	0.22	8	0.89	19	3.80	14	2.33	16	4.00	66	1.57	16	1	1.00	6	0.75	
(77) 手足口病	4	0.44	6	0.67			7	1.40	3	0.50	1	0.25	21	0.50	0			4	0.50	
(78) 伝染性紅斑			2	0.22	5	0.56			4	0.67			11	0.26	9					
(79) 突発性発疹	3	0.33	1	0.11	5	0.56	1	0.20	4	0.67	3	0.75	17	0.40	1	2	2.00	1	0.13	
(80) 百日咳															0					
(81) 風しん			3	0.33									3	0.07	2					
(82) ヘルパンギーナ	1	0.11	1	0.11									2	0.05	2				1	0.13
(83) 麻疹(成人を除く)			3	0.33									3	0.07	-5					
(84) 流行性耳下腺炎	2	0.22	1	0.11	2	0.22							5	0.12	-15			2	0.25	
(86) 急性出血性結膜炎	2	1.00											2	0.18	0			2	1.00	
(87) 流行性角結膜炎	3	1.50					4	4.00					7	0.64	-1			3	1.50	
(95) マイコプラズマ肺炎					2	2.00					1	1.00	3	0.50	-6					

保健所名	定点数				
	インフルエンザ (小児科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹
東地方	2	1	1	0	0
弘前	15	9	6	3	1
八戸	14	9	5	2	1
五所川原	7	5	2	1	1
上十三	9	6	3	2	1
むつ	6	4	2	1	1
青森市	12	8	4	2	1
合計	65	42	23	11	6

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」: 患者発生数 0

表 以外の感染症法対象疾患 (注: 結核については4月1日からの累計で、届出数は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患): 弘前1人、五所川原1人 (19年計:172人)
- (14) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患): 青森市1人 (19年計: 37人)

感染症の窓

急性出血性結膜炎

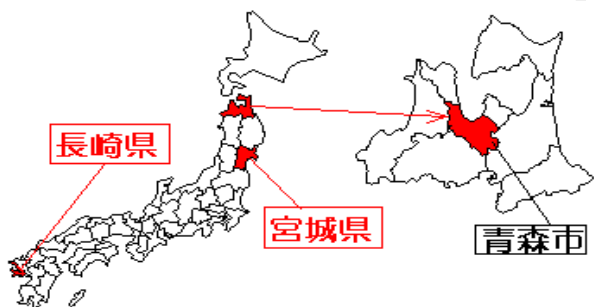


図1 第47週における警報発令地図

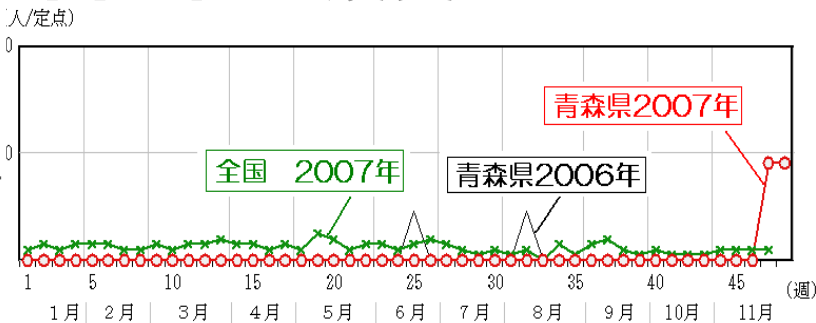


図2 全国及び青森県における発生状況

急性出血性結膜炎は、エンテロウイルス 70 型やコクサッキーウイルス A24 型変異株によって発症する感染症です。現在、青森市保健所管内において、2週連続で警報が発令されており(図1)、2007年の感染症発生動向調査では、初めての届出です(図2)。本疾患は、接触により感染し、潜伏期間約1日の後、**眼脂、眼痛、異物感、流涙、眼瞼腫脹、結膜充血**などの症状が1週間くらい続きます。感染経路は、涙液や眼脂で汚染された指やタオルからの接触によることから、家庭内で発症者がした場合などは、**手洗いを励行、眼の分泌物はティッシュペーパーなどで除き、直接、手で触れないこと**の他、**タオルや洗面器を共用しない**などの二次感染予防対策が必要です。